

節電にご協力をお願いします

問 生活環境課環境衛生係 ☎ 6726

なぜ節電？

震災により、電力供給能力が低下しています。これまでは、電気使用量が増えても、発電量を増やすことでバランスを保っていました。今年夏は、電気使用量が増えても、発電量に限りがあるため停電を起こす可能性があります。

電力の需要と供給のバランスを崩さないためにも、各家庭で節電にご協力をお願いします。

節電が効果的なのはいつ？

特に7～9月は冷房需要が増え、1日の中では午後2時頃に家庭や企業など全体の電力需要が最も大きくなります。

1日を通じた節電を心がけつつ、特に午前9時から午後8時までの節電をお願いします。

エアコンの控え過ぎによる熱中症などに気をつけて、無理のない範囲で節電しましょう。

※詳しくはホームページをご覧ください。

家庭での節電対策 (資源エネルギー庁資料より抜粋)

電気機器	節電内容	削減率	削減消費電力
エアコン	設定温度を28℃にする	10%	130W
	無理のない範囲でエアコンを消して扇風機を使用する	50%	600W
冷蔵庫	設定を強から中に変え、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込み過ぎない	2%	25W
照明	日中は照明を消して、夜間もできるだけ消す	5%	60W
テレビ	省エネモードに設定し、必要なとき以外は消す	2%	25W
温水洗浄便座	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを活用、またはコンセントからプラグを抜く	1%	5W
炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊き、冷蔵庫に保存する	2%	25W
待機電力	主電源を切り、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く	2%	25W

※エアコンの除湿運転や頻繁なオンオフは電力の増加になります。

削減率15%を超えるように節電に取り組みましょう。



みんなで声かけ 命を守る とわだセーフコミュニティ

問 セーフコミュニティ推進室 ☎ 6777



Safe Community

安全安心なまちづくり モデル地区が決定

安全安心なまちづくりを目的に事故やけがの予防を目指して先導的な取り組みをする3地区をセーフコミュニティ安全安心モデル地区に指定し、活動費の一部を補助します。

①日の出町内会 (竹原弘会長)

主な活動 高齢者宅への家庭訪問、火災警報器普及活動、街路灯・消火栓設置マップの作成など

②東小稲町内会 (太田善哉会長)

主な活動 危険箇所マップの作成、火災警報器設置運動など

③向切田町内会 (白山修二会長)

主な活動 転落防止の看板設置、一人暮らしの高齢者宅の見回りなど

皆さんの地域に行きます

出前講座の申し込みを受け付けています

セーフコミュニティの普及啓発の一環として、市民の皆さんが主催する集会などに市職員、セーフコミュニティとわだをすすめる会の会員が出向いて、お話しします。日時、内容は相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。

■主な内容

①安全安心なまちづくり

事故やけがは予防できるという理念のもと、安全安心なまちづくりについて学びます。

②身近に起こりやすい転倒・転落事故を予防しよう

家の中で起こりやすい転倒、転落事故。事故に遭わない対処法について学びます。

③交通事故を予防しよう

市内の交通事故多発地点の紹介や交通事故予防の取り組みなどについて学びます。

